

令和5年度

学校評価報告書



岩見沢市立北村中学校

□学校の概要

校長名	菊地 佳子			教職員数	15 名
学 年	1 年	2 年	3 年	特別支援	合 計
学級数	1	1	1	2	3
児童数	14	10	15	3	42
住 所	岩見沢市北村中央4725番地				
電 話	0126-56-2021				
FAX	0126-55-3120				
UR-L	http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/index.php/contents/item/1506563				
e-mail	kitamurac@edu.hamanasu.com				

I 学校教育目標

たくましい開拓精神を受け継ぎ、誇りと自覚をもち力強く歩む生徒

自 立 [自分で考え、正しく判断し、行動できる生徒]

～自らを律しながら主体的・創造的に自己の生活を営む姿～

共 生 [ほかの人との関わりを大切にし、協力してものごとを行う生徒]

～自己と他者との狭間で葛藤しながら、共に生きる立場を選択する姿～

挑 戦 [新しい自分を発見しようと努力する生徒]

～自己の領域を超え、新たな自分を発見しようと努める姿～

II 令和5年度の重点目標

- ① 主体的・対話的で深い学びを通した確かな学力の追求
- ② 豊かな人間性を育む支持的親和的な仲間づくり
- ③ 安全意識の向上と健康な体づくり
- ④ コミュニティ・エリアを基盤とした特色ある学校づくり
- ⑤ 小中一貫教育を支える組織体制の充実

III 具体的方策

- ① 主体的・対話的で深い学びを通した確かな学力の追求
 - ・学校と社会の相互連携・協働を促進し、「生きる力」を育む教育課程の編成
 - ・子どもが主人公になる「授業づくり」の推進
 - ・英語が使える児童生徒の育成
 - ・小中一貫した年間指導計画の編成
 - ・子ども一人一人の能力や可能性を伸ばす特別支援教育の充実
- ② 豊かな人間性を育む支持的親和的な仲間づくり
 - ・「特別の教科 道徳」を核とする道徳教育の充実

- ・自主的実践的態度を育む特別活動の推進
- ・子どもの自尊感情・自己有用感・達成感・規範意識を育てる取組の推進

③ 安全意識の向上と健康な体づくり

- ・しなやかな心と健康な体づくり
- ・小中連携した防災教育の推進

④ コミュニティ・エリアを基盤とした特色ある学校づくり

- ・地域とともにある学校づくりの創造
- ・自らの生き方を見いだすキャリア教育の推進
- ・安心・安全につなげる教育・学習環境の充実

⑤ 小中一貫教育を支える組織体制の充実

- ・子どもが輝く小中学校9年間の一貫した教育の推進
- ・小中一貫した授業展開「北村スタイル」の確立
- ・子どもを徹底して大切にする教育に資する「学校における働き方改革」の充実

Ⅳ 各種評価結果と改善策

次頁以降参照

5:十分満足できる 4:おおむね満足できる 3:標準 2:もう少し努力を要する 1:努力を要する

※「自分自身としてどの程度取り組みめたのか」という視点での回答

Ⅰ めざす姿						平均	昨年	比較	
①めざす学校像		5	4	3	2				1
児童生徒が期待感をもって通う学校		3	6	2	0	0	4.09	3.67	0.42
家庭・地域が応援したくなる学校		2	6	3	0	0	3.91	3.78	0.13
活気があり教職員が充実感を持てる学校		0	7	3	1	0	3.55	3.67	-0.12
②めざす生徒像		5	4	3	2	1			
次代の北村を担うために、見通しをもって粘り強く学び続ける児童生徒		0	5	6	0	0	3.45	3.89	-0.43
自ら律するとともに、自分も他者も大事にする児童生徒		4	5	2	0	0	4.18	3.78	0.40
自己を客観的に知り、心身ともに健康管理ができる児童生徒		0	6	5	0	0	3.55	3.56	-0.01
③めざす教師像		5	4	3	2	1			
心に寄り添い児童生徒を徹底して大切にする教師		3	6	2	0	0	4.09	3.88	0.22
授業改善や授業づくりに励み、研鑽し高め合う教師		3	6	2	0	0	4.09	4.25	-0.16
家庭・地域との連携・協働を大切に信頼される教師		1	5	4	1	0	3.55	3.88	-0.33
【考察】どの項目もおおむね3.5以上の評価となった。特に、ピアサポートや1分間スピーチなどの共通の取り組みを通して、「期待感をもって通う」や「自分も他者も大事にする」という項目の評価が高くなったと考える。									
Ⅱ今年度の重点目標									
【考察】確かな学力の定着は、3.5を切る結果となった。北村スタイルを通して、表現力や話し合う力はついてきていると考えるが、教科等で習得したことを活用して表現することにつながりを感じていないと考える。		5	4	3	2	1			
① 主体的・対話的で深い学びを通した確かな学力の定着		0	4	7	0	0	3.36	4.00	-0.64
② 豊かな人間性を育む支持的親和的な仲間づくり		1	8	2	0	0	3.91	3.88	0.03
③ 安全意識の向上と健康な体づくり		2	7	2	0	0	4.00	3.88	0.13
④ 社会・地域とつながる学校づくり		1	5	5	0	0	3.64	3.78	-0.14
⑤ 小中一貫教育を支える組織体制の充実		2	4	5	0	0	3.73	4.00	-0.27
Ⅲ具体的方策									
重点①:主体的・対話的で深い学びを通した確かな学力の定着									
(1)教育課程 ◎ 学校と社会の相互連携・協働を促進し、「生きる力」を育む教育課程の編成									
【考察】学習指導要領の趣旨に沿い、地域との関連性を持たせた教育課程の編成・実施・工夫・改善を行い、「社会に開かれた教育課程」を推進していることがこの評価でうかがえる。		5	4	3	2	1			
① GR—PDCAのカリキュラム・マネジメントに基づく教育課程の工夫・改善を図る。		0	7	4	0	0	3.64	3.88	-0.24
② 学習指導要領の趣旨に沿った教育課程を編成し、新しい時代に対応できる力を育成する。		2	6	3	0	0	3.91	3.88	0.03
③ 学校・家庭・地域の双方向の連携強化により、教育活動の活性化を図るとともに「社会に開かれた教育課程」を推進する。		1	6	4	0	0	3.73	3.88	-0.15
(2)学習指導 ◎ 子どもが主人公になる「授業づくり」の推進									
【考察】ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を充実させることができ、個別最適な学びと協同的な学びの推進することができた。		5	4	3	2	1			
① 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に意図的に取り組み、確かな学力の育成と児童生徒一人一人の個別最適な学びを推進する。		1	8	2	0	0	3.91	3.88	0.03
② ICTの効果的活用による情報活用能力を高める授業及び学習スキルの向上による「学びの形成」を高める授業を推進する。		3	6	2	0	0	4.09	3.63	0.47
③ 「教えて考えさせる」授業スタイルを基盤とした「子どもと創る授業」を展開する。		1	8	2	0	0	3.91	3.88	0.03
④ 各種調査等による客観的データの分析を踏まえた授業改善の充実を図る。		1	7	3	0	0	3.82	4.00	-0.18
(3)外国語・英語科 ◎ 英語が使える児童生徒の育成									
【考察】どの項目も4以上の評価となった。英語暗唱大会での入賞や小6の専科授業など成果が上がったことが要因と考える。		5	4	3	2	1			
① ALTの積極的な活用及び教科担任との連携により、生きた英語に触れさせ活用できる力を育む。		3	7	1	0	0	4.18	3.63	0.56
② 中学校英語科へのスムーズな接続と小中9年間を意識した適切な教育課程を編成する。		5	5	1	0	0	4.36	3.75	0.61
③ 検定等への積極的な参加を奨励し、英語に対する関心・意欲の向上を図る。		3	7	1	0	0	4.18	3.63	0.56
(4)総合的な学習の時間 ◎ 小中一貫した年間指導計画の編成									
【考察】CSを通して、9か年の地域学習プログラムを作成し、系統立てて行っていたことが高い評価につながったと考える。		5	4	3	2	1			
① 小中9年間を見通した指導計画を編成し、探究的な見方・考え方を効果的に育成する。		1	7	3	0	0	3.82	3.50	0.32
② 地域の「ヒト・モノ・コト」を積極的に活用する実践を通して、実社会・実生活と関連する課題に気づき、解決しようとする態度を育成する。		2	7	2	0	0	4.00	3.88	0.13
③ 自己の生き方を考え、将来の実践力を育成する教育課程の充実を図る。		1	7	3	0	0	3.82	3.63	0.19
(5)特別支援教育 ◎ 子ども一人一人の能力や可能性を伸ばす特別支援教育の充実									
【考察】3年ぶりに特別支援学級が開設され、生徒の実態把握や個に応じた効果的な支援や指導が行われた。特別支援教育の視点に立った教科指導等は、必要不可欠であるので、研修等の時間を確保する必要がある。		5	4	3	2	1			
① 特別な配慮を必要とする児童生徒への組織的対応と個別の指導計画及び個別的教育支援計画をもとにした支援の充実を図る。		5	3	3	0	0	4.18	3.63	0.56
② 特別支援コーディネーターを中心として、児童生徒の実態の把握や個に応じた効果的な支援や指導について話し合い、個々の児童生徒への指導の充実を図る。		3	6	2	0	0	4.09	3.25	0.84
③ 関係機関と連携や特別支援教育に関する研修を実施し、特別支援教育の充実を図る。		1	6	4	0	0	3.73	3.25	0.48

重点②:豊かな人間性を育む支持的親和的な仲間づくり										
(6)道徳教育 ◎「特別の教科 道徳」を核とする道徳教育の充実										
【考察】全ての教員が、道徳の時間を担当しており、取り組みとして充実しているという点が高評価につながっているものと考えられる。今後「考え、議論する道徳」に向けた授業改善を行っていく必要がある。						5	4	3	2	1
①「特別の教科 道徳」の時間を要として道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育み、学校の教育活動全体を通じて、自ら感じ、考え、判断し、道徳実践力を育成する。						3	6	2	0	0
② 生命を大切にする心や思いやりの心、個性や立場を尊重する態度など豊かな人間性・社会性を育む創意ある指導を行う。						3	7	1	0	0
③ 道徳教育推進教師を中心に道徳指導の研修を行い、「考え、議論する道徳」に向けた授業改善を推進する。						2	6	3	0	0
(7)特別活動 ◎ 自主的実践の態度を育む特別活動の推進										
【考察】体育大会や学校祭等の行事で前年踏襲ではない、自主的実践的な活動が多く見られたのが、高い評価につながったと考える。						5	4	3	2	1
① 児童生徒が学校行事や児童会・生徒会活動を通じて、主体的に学校生活を営み、集団の一員として目見し、よりよく生活しようとする自主的・実践的な態度を育む。						2	6	3	0	0
② 児童生徒が自分たちの生活の諸問題の解決について話し合う学級活動の授業の充実を図る。						1	7	3	0	0
③ 協働の重要性や達成感・自己有用感を実感できる体験活動の充実を図る。						2	7	2	0	0
(8)生徒指導 ◎ 子どもの自尊感情・自己有用感・達成感・規範意識を育てる取組の推進										
【考察】ピア・サポートを中心とした信頼関係に基づく仲間づくりの取組の充実や、普段からの生徒に寄り添った指導が、高い評価につながっているものとおさえることができる。						5	4	3	2	1
①「傾聴・受容・共感」の信頼関係に基づく仲間づくりを推進し、安心して生活できるように学級経営の充実を図る。						2	8	1	0	0
② 支持的親和的な人間関係を育む「ピア・サポート」の実践を基盤とした学級づくりを推進する。						2	7	2	0	0
③ QUTテストの結果分析やコーチングを活用した教育相談により、子どもを理解し、心に寄り添う日常指導の充実を図る。						2	7	2	0	0
④ 互いに尊重し、認め合うとともに、対立の解消に主体的に取り組む態度を育成する。						3	7	1	0	0
⑤ コミュニケーションツールとして正しく活用できる力を育む情報モラル教育の充実を図る。						2	6	3	0	0
重点③:安全意識の向上と健康な体づくり										
(9)健康 ◎ しなやかな心と健康な体づくり										
【考察】どの項目も3.5以上の評価となった。感染症で、2度の学級閉鎖等を行ったが、「しなやかな心と健康な体づくり」はおおむねできていたと考える。						5	4	3	2	1
① 新体力テストなど客観的データをもとにした体育授業等の改善を推進する。						1	6	4	0	0
② 食に関する指導や薬物乱用防止教室等を実施し健康指導の充実を図る。						1	6	4	0	0
③ 自己肯定感や自己調整力を高め社会性や他者理解を育む心の教育の充実を図る。						2	7	2	0	0
④ 運動習慣の確立を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図る。						2	4	5	0	0
⑤ 健康情報や新型コロナウイルス感染症など不測の事態に関する情報等を正しく選択して適切に行動できる資質・能力を育む。						2	5	4	0	0
(10)安全・安心 ◎ 小中連携した防災教育の推進										
【考察】おおむね高い評価である。次年度は、小中合同、地域も一体となった防災教育を行っていく必要がある。						5	4	3	2	1
① いかなる状況下でも自らの命を守る力を養うとともに、災害時や日常生活の中で何ができるのかを考えさせる防災教育を推進する。						2	6	3	0	0
② 防災・防犯教育、交通安全指導を計画的に実施し、子どもたちの危機回避能力の伸長を図る。						2	7	2	0	0
③ 小中合同の避難訓練・情報モラル教室を実施し、防災・防犯意識の向上を図る。						3	6	2	0	0
重点④:社会・地域とつながる学校づくり										
(11)北村中学校区コミュニティ・エリア ◎ 地域とともにある学校づくりの創造										
【考察】CSだより、小中一貫だより等、積極的な情報発信に努めることができた。9か年を見通した地域学習プログラムを作成し、「ふるさと教育」を推進することができた。						5	4	3	2	1
① 小中一貫教育活動等の積極的な情報発信、授業参観・懇談会・学校行事等の充実を図る。						2	7	2	0	0
② PTA及び学校運営協議会の組織体制や活動内容を整理・充実させ、学校・家庭・地域の連携強化を図る。						2	5	4	0	0
③「将来にわたって北村を支える人材の育成」を念頭に、ふるさと愛を育む「ふるさと教育」を基盤として、地域の活性化や地域づくりを推進する。						2	3	6	0	0
(12)進路指導(キャリア教育) ◎ 自らの生き方を見いだすキャリア教育の推進										
【考察】地域人材や、素材が豊富な北村地区ではあるが、職場体験活動の充実という部分では、選択肢が限られ、自らの生き方を見いだせるか疑問が残る。						5	4	3	2	1
① 地域教育資源を効果的に活用し、身近な地域学習の中から自らの役割を考える力や働くことへの夢を育む。						2	4	5	0	0
② 進路計画の立案や社会における自分の役割、将来の生き方・働き方について、キャリアパスポートの効果的活用等により主体的に考える力を育成する。						1	5	5	0	0
③ 望ましい勤労観・職業観を育成するための職場体験活動の充実を図る。						1	4	5	0	1
(13)教育環境・学習環境の整備 ◎ 安心・安全につなげる教育・学習環境の充実										
【考察】関係機関や地域・保護者との連携というところで要努力といった意見がある。働き方改革や効果的な教育環境を考えていくうえで、関係機関等との連携は重要である。						5	4	3	2	1
①「いじめ防止基本方針」をもとに、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。						3	6	2	0	0
②「教育支援センター」等の関係機関との連携を図り、悩みや不安をもつ子どもへの支援の充実を図る。						1	4	5	0	1
③ 校舎内外(グラウンド、校舎、教材園、遊具等)を使いやすく整備し、環境の美化に努める。						3	6	2	0	0
④ 保護者・地域の協力の下、教育環境・学習環境の整備を行う。(PTA・学校運営協議会の活動)						1	4	5	0	1

重点⑤：小中一貫教育を支える組織体制の充実										
(14)小中一貫教育 ◎ 子どもが輝く小中学校9年間の一貫した教育の推進										
【考察】「子どもが輝く9年間」といった観点から、教科担任制や合同授業は効果的であると考える。小学校・中学校ともにwin-winとなる一貫教育の充実が重要である。						5	4	3	2	1
①「学校づくり＝授業づくり」の視点に立った「学び続ける学校」への組織的な改善を図る。						2	7	2	0	0
②令和5年度小中一貫校に向けた小中9年間の教育課程を検討・編成及び学びの連続性を実現する教育活動の推進。						2	6	3	0	0
③教科担任制の導入や相互授業参観、乗り入れ授業、合同授業等により、連携の強化と授業改善を推進する。						3	4	3	0	1
④小中で統一した学力向上への取組成果を検証し、合同研修等で指導力向上を図る。						3	6	2	0	0
(15)校内研修 ◎ 小中一貫した授業展開「北村スタイル」の確立										
【考察】小中合同での研修体制が強化され、授業改善を推進することができた。公開研究会、各種研修会、各種講座への積極的な参加に個人差があるように感じている。						5	4	3	2	1
①「子どもと創る授業」作りを基盤とし、教師の“教えたい”を児童生徒の“学びたい”に変える授業改善を推進する。						1	7	3	0	0
②小中9年間の「北村スタイル」の構築を目指し、小中合同での研修体制の強化及び実践的指導力の向上を図る。						2	8	1	0	0
③ICTの効果的活用や授業のハイブリット化に向けた実践的研修を推進する。						2	6	2	1	0
④公開研究会、各種研修会、各種講座に積極的に参加し、専門性や実践的指導力の向上を図る。						3	3	5	0	0
(16)働き方改革の推進 ◎ 子どもを徹底して大切にする教育に資する「学校における働き方改革」の推進										
【考察】働き方改革の意義等については理解されているが、「勤務時間・健康管理の意識」や「連携・分担しての課題の対応」の部分で解消されていないことが数値上読み取れる。						5	4	3	2	1
①教員が自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることにより自らの人間性や創造性を高める。						2	6	3	0	0
②教員が笑顔になり、児童生徒も笑顔になれる学校における働き方改革を推進する。						0	5	6	0	0
③ライフステージやキャリアステージに応じた資質・能力の養成による「教えるプロ」の育成を図る。						1	5	4	1	0
④勤務時間管理の徹底と勤務時間・健康管理を意識した働き方を推進する。						0	3	7	1	0
⑤学校内外との関係で連携・分担して課題に対応できる体制の充実を図る。						0	3	6	2	0
IV今年度の数値目標										
【考察】学力、家庭学習に関しては、厳しい数値評価となった。アンケート結果についてはおおむね良好であると考える。働き方改革は、意識としては高いと考える。						5	4	3	2	1
(1)全国学力・学習状況調査の平均正答率及び新体力テストで全国比平均以上						0	3	3	3	2
(2)標準学力検査(NRT)の学力偏差値を50以上						0	3	5	1	2
(3)家庭学習に取り組む時間、小学校「学年×10分＋10分」中学校「学年×20分＋60分」を100%						1	2	4	3	1
(4)学校評価保護者アンケート項目全てで「肯定的評価」を90%以上						0	4	5	2	0
(5)学校評価児童生徒アンケート項目全てで「肯定的評価」を95%以上						0	4	5	2	0
(6)生徒による授業アンケート項目全てで3.5ポイント以上(中学校)						0	8	2	1	0
(7)部活動に関わる活動方針の遵守100%(中学校)						2	5	4	0	0
(8)19:00施錠(月平均) ※「施錠」は「退動」と考えてください						2	5	2	1	1

【Ⅰ 自己評価・各アンケートの分析】（生徒アンケート）

令和5年度 教育活動に関する生徒アンケート【北村中学校】全学年集計

【5：よく当てはまる 4：大体当てはまる 3：どちらでもない 2：あまり当てはまらない 1：全く当てはまらない】

1 学校の取組について

	達成度				
(1) 学校は、漢検や英検などの各種検定試験に挑戦できる環境を整えている。	5	4	3	2	1
(2) 学校は、いろいろな応募コンクールを紹介し、挑戦できる環境を整えている。	5	4	3	2	1
(3) 学級活動は、話し合いによっていろいろな内容を決めている。	5	4	3	2	1
(4) 生徒会活動は、話し合いによっていろいろな内容を決めている。	5	4	3	2	1
(5) 学校は、災害や不審者、薬物、IT関連の犯罪などから自分たちの身を守る知識や対処法を教えている。	5	4	3	2	1
(6) 学校は、成長期にある自分たちの体や性についての知識や適切な態度を教えている。	5	4	3	2	1
(7) 行事（学校祭、体育大会など）は内容が充実している。	5	4	3	2	1
(8) 学校は、学校生活のいろいろな場面を通して、ともに支え合うことの大切さを感じさせる活動をしている。	5	4	3	2	1

2 学習・授業について

	達成度				
(1) 先生方は、いろいろなICT教育機器を効果的に使い授業をしている。	5	4	3	2	1
(2) 先生方は、授業中や授業以外の時間（休み時間、放課後、夏・冬休みなど）でも分からないことや疑問に思ったことを適切にアドバイスしてくれる。	5	4	3	2	1
(3) 授業中、自分の考えや自分なりの答えなどを決める時間がある。	5	4	3	2	1
(4) 授業中、自分の考えや自分なりの答えを発表したり意見を交換したりする場面がある。	5	4	3	2	1
(5) 授業では、少人数指導やチームティーチング、ペア・グループ学習など工夫がなされている。	5	4	3	2	1

3 自分自身について

	達成度				
(1) 家庭学習は毎日している。	5	4	3	2	1
(2) 学級活動で自分たちで決めたことを自分たちで責任を持って行うようになってきた。	5	4	3	2	1
(3) 生徒会活動で自分たちで決めたことを自分たちで責任を持って行うようになってきた。	5	4	3	2	1
(4) 学校生活のいろいろな場面を通して、将来のことを考えるようになってきた。	5	4	3	2	1
(5) 朝読書などを通して、いろいろな本を読む機会が増えてきた。	5	4	3	2	1

4 学校に対する意見や要望があれば書いてください。（施設面以外で）「自分たちが今以上に誇りに思える・自慢できる北村中学校にするために」という視点で書いてください。

・振り返りの項目を増やすといいと思います。

・一人一人が誰に対してもやさしく対応できるようにするともっと良い。

・全学年がもっと仲良くできるような場面や機会を作ってほしいです。自分から先輩へと声をかけるのが、怖い人とかも、もしかしたらいるかもしれないので。

・もっと生徒の意見を取り入れてほしい。

・学習時間だけでなく勉強した内容を理解できているかが大切だと思う。

・体育祭に100mを加えてほしい。

・もう少し臨時休校の判断を早くしてほしい。

1年							2年							3年							全校						
集計人数 17							集計人数 10							集計人数 15							集計人数 42						
5	4	3	2	1	AVG		5	4	3	2	1	AVG		5	4	3	2	1	AVG		5	4	3	2	1	AVG	
6	5	5	1	0	3.9		10	0	0	0	0	5.0		12	3	0	0	0	4.8		28	8	5	1	0	4.5	
8	7	2	0	0	4.4		8	2	0	0	0	4.8		8	6	1	0	0	4.5		24	15	3	0	0	4.5	
9	6	2	0	0	4.4		6	4	0	0	0	4.6		7	5	2	1	0	4.2		22	15	4	1	0	4.4	
8	8	1	0	0	4.4		7	3	0	0	0	4.7		11	3	1	0	0	4.7		26	14	2	0	0	4.6	
#	5	1	0	0	4.6		8	2	0	0	0	4.8		9	5	1	0	0	4.5		28	12	2	0	0	4.6	
8	7	2	0	0	4.4		4	6	0	0	0	4.4		8	6	0	1	0	4.4		20	19	2	1	0	4.4	
9	7	0	1	0	4.4		2	6	1	1	0	3.9		7	5	2	0	1	4.1		18	18	3	2	1	4.2	
#	6	1	0	0	4.5		6	4	0	0	0	4.6		6	8	1	0	0	4.3		22	18	2	0	0	4.5	

5	4	3	2	1	AVG		5	4	3	2	1	AVG		5	4	3	2	1	AVG		5	4	3	2	1	AVG	
6	9	2	0	0	4.2		5	5	0	0	0	4.5		6	7	0	2	0	4.1		17	21	2	2	0	4.3	
9	6	2	0	0	4.4		8	2	0	0	0	4.8		9	4	2	0	0	4.5		26	12	4	0	0	4.5	
12	4	1	0	0	4.6		8	2	0	0	0	4.8		10	2	3	0	0	4.5		30	8	4	0	0	4.6	
12	4	1	0	0	4.6		6	4	0	0	0	4.6		10	3	2	0	0	4.5		28	11	3	0	0	4.6	
10	5	2	0	0	4.5		7	3	0	0	0	4.7		7	7	1	0	0	4.4		24	15	3	0	0	4.5	

5	4	3	2	1	AVG		5	4	3	2	1	AVG		5	4	3	2	1	AVG		5	4	3	2	1	AVG	
4	8	4	1	0	3.9		5	4	0	1	0	4.3		2	7	3	2	1	3.5		11	19	7	4	1	3.8	
6	8	3	0	0	4.2		7	3	0	0	0	4.7		7	6	2	0	0	4.3		20	17	5	0	0	4.4	
4	9	4	0	0	4.0		6	3	1	0	0	4.5		7	6	2	0	0	4.3		17	18	7	0	0	4.2	
3	11	2	1	0	3.9		4	5	1	0	0	4.3		6	7	1	1	0	4.2		13	23	4	2	0	4.1	
5	7	3	2	0	3.9		5	4	0	1	0	4.3		7	5	2	1	0	4.2		17	16	5	4	0	4.1	

《分析》

- 学校の取組については、全体では多くの項目で評価は高くついているが、学年別では1年生（1）、2年生の（7）が4をきっている。生徒減少等で実施が難しくなるが、小学校と連携し、環境を整えるよう努めていく。行事の内容充実を図る必要があると考える。
- 全ての項目で高評価となっている。（1）に関しては2の評価が4名いるので、引き続きICT教育機器を授業に有効活用していく必要があると考える。
- （1）（4）（5）の評価を上げるために、特に1年生ではキャリア教育・道徳等で学習や進路について考える場面を増やすことが必要と考える。
- 全校でのピアサポート・道徳・学活等で学年を超えて交流するする機会を多くすることも必要と考える。

I 自己評価・各アンケートの分析【保護者アンケート】

令和5年度 教育活動に関する保護者アンケート【北村中学校】

このアンケートは学校の授業や行事など学校の教育活動全般にわたって保護者の皆様の考えをお聞きし、今後の学校運営に役立てるものです。

達成度の欄に下記の5・4・3・2・1の項目の中から、普段感じていることに最も近いと思うものを選び記入してください。

1 記入者はどなたですか。あてはまるものに○をおつけください。

母親

父親

祖父母

その他

【5:よく当てはまる 4:大体当てはまる 3:どちらでもない 2:あまり当てはまらない 1:全く当てはまらない】

2 学校の取組について

	達成度
(1) 学校は教育活動を保護者に理解・協力してもらえよう、行事や日常の活動について情報を発信している。	5 4 3 2 1
(2) 学校は、保護者から理解を得られる教育活動をしている。	5 4 3 2 1
(3) 学校は、地域の方々に関心を持ってもらい、期待に応える教育活動を行っている。	5 4 3 2 1
(4) 学校は、生徒の自主性を尊重し、生徒会・学級活動などを通して、自らの責任を果たすことの大切さを指導している。	5 4 3 2 1
(5) 学校は、生徒会・学級活動や授業などで、話し合いを大切にし、コミュニケーション能力を高める指導をしている。	5 4 3 2 1
(6) 学校は、基礎・基本の定着や学力向上のため、授業や様々な場面での学習支援を実施している。	5 4 3 2 1
(7) 学校は、授業形態を工夫して「分かる授業」を目指し学習を進めている。 ◇T・T(ティーム・ティーチング)による学習形態:【数学】	5 4 3 2 1
(8) 学校は、「豊かな心」の育成のため、道德教育や読書活動などの充実を図っている。	5 4 3 2 1
(9) 学校は生徒の安全確保のため、災害時の対応や不審者対策、薬物乱用防止、性やITに対する情報の提供や指導を行い、身を守るための指導を行っている。	5 4 3 2 1
(10) 学校は、家庭学習の習慣化の必要性を家庭に働きかけている。	5 4 3 2 1
(11) 学校は、生徒一人ひとりの能力の伸長を図るために、各種検定やコンクールなどへ挑戦できる環境を整えている。	5 4 3 2 1

【1年】						【2年】						【3年】						【全校】					
集計人数 17						集計人数 10						集計人数 15						集計人数 42					
5	4	3	2	1	AVG	5	4	3	2	1	AVG	5	4	3	2	1	AVG	5	4	3	2	1	AVG
6	8	3	0	0	4.2	2	6	1	1	0	3.9	2	11	2	0	0	4.0	10	25	6	1	0	4.0
5	7	4	1	0	3.9	2	6	2	0	0	4.0	2	6	5	2	0	3.5	9	19	11	3	0	3.8
1	10	6	0	0	3.7	2	4	3	1	0	3.7	2	6	7	0	0	3.7	5	20	16	1	0	3.7
5	9	3	0	0	4.1	3	4	3	0	0	4.0	3	11	1	0	0	4.1	11	24	7	0	0	4.1
5	8	4	0	0	4.1	3	3	3	1	0	3.8	3	10	2	0	0	4.1	11	21	9	1	0	4.0
5	6	6	0	0	3.9	4	1	4	1	0	3.8	3	7	3	2	0	3.7	12	14	13	3	0	3.8
4	8	5	0	0	3.9	2	4	3	1	0	3.7	1	7	6	1	0	3.5	7	19	14	2	0	3.7
2	12	3	0	0	3.9	1	8	1	0	0	4.0	3	8	4	0	0	3.9	6	28	8	0	0	4.0
3	11	3	0	0	4.0	0	9	1	0	0	3.9	2	11	2	0	0	4.0	5	31	6	0	0	4.0
5	7	5	0	0	4.0	2	6	2	0	0	4.0	2	6	5	2	0	3.5	9	19	12	2	0	3.8
4	5	8	0	0	3.8	3	4	3	0	0	4.0	2	7	4	2	0	3.6	9	16	15	2	0	3.8

《分析》

1	((1)と(2)・(3)の評価に差が出ていることに対して) 情報は発信しているが、その内容が正確に伝わっていない、保護者や地域の期待に応える活動とはなっていない部分もあると思われる。 すべての期待に応えていくことはできないが、学校側の目標・意図を粘り強く伝え続けると共に、保護者の意見を真摯に受け止め、速やかに対応していくことを継続していきたい。
2	
3	
4	“自分達の生活は自分達で作る”、“話し合い活動の充実”を本年度のテーマとして活動していることが、生徒を通して保護者にもある程度伝わっていると思われる。 “短学活における班活動”など、日常的な取り組みを今後も継続して行い、自主性・コミュニケーション能力の向上を図っていきたい。
5	
6	“教えて考えさせる”ことを基本とした“北村スタイル”の授業を各教科で展開しているので、学力向上の取り組みは受け入れられていると判断できる。理解が不足している生徒への手助けを、さらに充実させていけば、本項目の評価はさらに上がっていくと思われる。
7	
8	学校便り・学級便り等で情報発信をしているので、道德の授業の様子・身を守るための指導の内容が保護者にも伝わっている。それらのことを自分事として生徒がしっかりとらえ続けられるように、今後も道德教育・安全教育の充実を図っていきたい。
9	
10	家庭学習の必要性を理解はしているが、実態が伴っていない現状がある。記述欄の意見のように、家庭学習の“時間”ではなく、“内容”で評価・指導していくことも必要であると思われる。学習常任委員会と連携し、生徒が進んで学習できる環境をさらに整えていきたい。
11	可能な限り生徒への連絡・検定の実施は行っている。検定を受けていない保護者の中には、それを行っていること自体知らない方もいると思われるので、学校だより等を通して、募集・実施の連絡等を、より積極的に行っていきたい。

【Ⅰ 自己評価・各アンケートの分析】(保護者アンケート自由記述集計結果)

3 その他、学校行事などで北村中学校をより良くするための意見や要望 (施設面以外) をお書きください。

	番号	項 目
1年	①	学校祭が少しさみしい感じがしたので、昼食の時間くらいは保護者のお手伝いしたいよ、してもいいよって人たちに願ひして、以前のような食べ物があったり、キッチンカーをたのんでみるとかできたらいいなと思いました。
	【学校回答】	貴重なご意見ありがとうございます。今年度の学校祭は、コロナ五類移行での開催でした。反省からも、「自分たちが作り上げた学校祭」という意識が高かったと考えます。その中にも改善点や反省がありましたので、今年以上の学校祭を目標にサポートしていただければと考えます。
	②	子供たちが好きな部活ができないのは、何とかなったら良いなと思います。
	【学校回答】	令和6年度以降も、岩見沢市では拠点校方式の部活動の種目を増やしていく予定です。北村地区は、送迎が必要なので、負担が増えてしまいますが、好きな部活動を選べるようになります。
	③	どの先生もいつも親切です。ありがとうございます。
	【学校回答】	ありがとうございます。このような評価をしていただけるよう誠心誠意努めていきます。
2年	①	これからも子供達をよろしくお願い致します。要望は特にありません。
	【学校回答】	承知いたしました。こちらもご協力願うことが多々出てくると思います。あわせてお願いいたします。
	②	体育大会で100m走をやってほしい。
	【学校回答】	次年度、生徒とともに競技内容を考えていく中で、参考にしていきたいと考えます。
	③	家庭学習を時間にとらわれないで内容で評価してほしい。
	【学校回答】	短学活においても、時間重視での確認を行っていました。別の基準(問題数や難易度等)で評価できるようにしていきます。
3年	④	生徒数が少ないので、行事を子供達だけで行う事は難しいと思います。先生方の協力がもう少しあると良いと思います。
	【学校回答】	行事の企画・運営については、生徒の自治的な力を養う目的もあり、指導しているところです。生徒数の減少は続きますので、小中での合同行事等工夫していきたいと考えます。
3年	①	生徒に対する発言を気をつけてほしい。
	【学校回答】	気になる発言等がありましたら、学校(教頭)までお願いいたします。不登校の一つの要因に、「先生との関係」があります。未然防止の観点から少しでも気になることがありましたら、連絡願います。